

## ■令和6年4月30日 定例記者会見内容

- 1 日 時 令和6年4月30日（火）11:00～11:30
- 2 場 所 市役所本庁舎3階 第3委員会室
- 3 出席者 ○市長、副市長、総務部長、企画部長、文化政策調整監、危機管理監、  
教育次長、市長公室長  
○酒田記者クラブ／各社  
幹事社／河北新報・TUY

### 1 防災情報一斉配信システムの導入について（危機管理課・企画調整課）

市長／防災情報一斉発信システムの導入についてですが、令和6年4月1日から防災情報など、市民の皆さんにとって重要な情報を市役所の防災行政無線操作卓から多様な媒体に、同時発信するシステムの運用が始まりました。

これまで、防災情報を発信する際は、それぞれの媒体ごとに入力操作をする必要があったため、情報発信に時間を要しておりました。今回、老朽化した防災行政無線の操作卓を更新するのに合わせて、防災行政無線やエリアメールだけでなく、市のホームページや市の公式 SNS 等についても、一斉に発信できるようになり、多様な媒体で迅速に、防災情報等を市民の皆さんに届けることができるようになりました。

また、これまでLINEにより利用者登録をさせていただいていた「さかたコンポ」ですけれども、新たに5月15日からは、メールアドレスによる利用者登録もできるようになりますので、5月15日からは、そのようにして登録させていただいたメールアドレスに直接防災情報、防災情報等をお届けできるようになります。

これらによりまして、全市一斉発信可能となる情報発信手段は、これまでの防災行政無線、そしてハーバーラジオに対する割込み放送に追加して、緊急速報メール、エリアメール、これはこれまで別々に入力していたものが同時発信となり、そして市の公式 SNS の LINE、X、Facebook も別々に発信しておりましたが、一斉に発信されます。

そして今申し上げた登録制メール、これは酒田コンポ利用者登録メールアドレスへの配信です。そして市のホームページ、それから要配慮者向けには、電話音声自動発信もできるようになりますが、最後の電話音声自動発信に関しましては、要配慮者向けに今後運用を検討していくものです。

なお、今申し上げた媒体ですが、市内全域へ発信する場合に限り、一斉発信することが可能であり、一部の地域または地区を限定しての一斉発信はできません。

一方で、情報発信手段についてはその都度選択することができます。例えば、防災行政無線のスピーカーからは放送せずに、市公式 SNS のみで発信するといった運用もできるようになります。内容や重要度などに応じて使い分けながら運用して参りたいと思います。

繰り返しになりますが、メールを利用して防災情報等を受け取るには、酒田コンポへの利用者登録が必要です。すでにLINEで登録済みの方は、手続きが不要でラインに連絡が来るといことです。ですので、市の公式LINEへ友達登録をしているが、まだ酒田コンポへ

登録していないという方はぜひ、防災情報を受けておりますのでこの機会にさかたコンポにも登録をぜひお願いできればと思います。また LINE をやっていないという方も、今後はメールアドレスで登録ができますので、ぜひ登録いただいて、防災情報を受け取っていたく手段を複数確保していただければというふうに思います。

## **2 酒田市文化資料館「光丘文庫」がオープンします（文化政策課）**

市長／2 点目ですけれども、酒田市文化資料館光丘文庫がオープンいたします。資料館光丘文庫公文書館及び埋蔵文化財整理室の機能を統合した酒田市文化資料館光丘文庫が、5 月 18 日総合文化センター1 階にオープンいたします。考古文献、民俗資料、記録資料、特定歴史資料等を集約することで、それらの散逸を防ぎ、一括で管理することができます。

また各館で対応していたレファレンスサービスもワンストップ化され、市民の皆さんの利便性も高まります。

さらには館内の案内、そして常設展企画展についての解説を随時対応いたしますので、気軽に窓口までお申し込みいただければと思います。

今後文化資料館光丘文庫では酒田ならではの特徴を取り上げた展示を行い、地域の風土、歴史文化をわかりやすく説明、紹介いたします。具体的には常設展示の他、年数回の企画展示を予定しております。

第 1 回企画展は、日本の中の酒田をテーマに、江戸期の酒田中心部の様子を描いた塞道幕と近世から昭和にかけて酒田を訪れた人々が残した資料から、往時の酒田を紹介いたします。5 月 18 日から 7 月 21 日までとなっております。

なお、関連企画としまして、まち歩き「おすわり幕のまちなみを歩く（仮題）」を実施する予定ですので、詳細が決まり次第お知らせいたします。私からは以上でございます。

市長公室長／併せまして本日、1 点目に関連し、一斉配信システムに関しまして、酒田コンポからの、メール登録方法のパンフレットをお付けしております。

併せて、文化資料館の新しいパンフレットの方も添付させていただいておりますので、よろしく願いいたします。それでは質問はありますか。

### **■市長発表事項に対する質問**

記者／防災情報一斉発信について、整備費用を教えてください。

市長／課長はわかりますか。

危機管理課長／確認させてください。

市長／申し訳ございません。後ほど確認させてください。

記者／防媒体としては、6 媒体ですか。

市長／そうですね、6 媒体に分類いたしました。

記者／これまでは、X や Facebook など、それぞれ 1 つずつ入力していたものが、1 回の入力ですべて発信することができるのでしょうか。

市長／はい。

記者／わかりました。こういったシステムを導入している自治体は他にありますか？

市長／課長わかりますか。

危機管理課長／申し訳ありませんが、確認させて欲しいです。

市長／後ほどきちっと説明いたします。

市長公室長／2点、宿題いただきましたので後程対応させていただきたいと思います。その他、いかがでしょうか。

記者／運用開始が4月1日からということですがけれども、試験放送はされたのでしょうか。

危機管理監／通信試験はやっております。

記者／その際に不具合とか、そういったことはどうでしたか。

危機管理監／確認されていない。

記者／確認されてない。了解です。

記者／光丘文庫の方についてですけれども、これまでの資料館とかですね、光丘文庫っていうのは、引き続きどうなるか。決まっていたら教えていただきたい。

市長／施設面ですか。機能については統合になります。

記者／資料館は統合だった後の現在の資料館は。跡地、後はどうなるのか。あと、光丘文庫はしばらく閉鎖のままですけど、これを機に新たに決まったものがあれば。

市長／資料館につきましては、跡地、建物も含めてどうするか、他の公共施設と一緒にですが、同じようにどうするかを検討していきたいということでございます。

光丘文庫につきましては、これは建物の外観は何とか残していきたいという方向性で検討中ということでございます。

記者／外観を残すというということですね。解体しないということでしょうか。

市長／検討中で正式には決めていません。

総務部長／市指定文化財ということなので、まず外観は保存して残していきたいのが今の考え方でございます。

記者／はっきり決まったことはないということですね。

市長／はい、これからということですよ。

市長公室長／先ほどの市長発表事項の件につきまして、危機管理課長の方から発言があります。

危機管理課長／今回の指定防災情報の一斉発信システムに係りまして、工事費と設計費合わせて5,900万円掛かっております。導入の自治体についてですけれども、石川県小松市、東京都北区、三重県伊勢市が、同じような配信方法を導入しております。以上です。

## ■代表質問

### 1 スケートリンク仮設で設計費及び整備費と設置場所の選定理由について

記者／スケートリンク仮設で旧松山中学校体育館に設置するというところで設計費の予算が組まれているが、整備費も含めるとどれくらいになる予定か。また、なぜ松山という土地を選定したのかお聞かせください。

**市長**／今のご質問は、酒田市も財政が厳しい中で、どれぐらい掛かるのかというご質問、或いは、今は中心市街地に近いところにありますものが松山になりますと、利用する人にも少し遠いのではないかというご質問かなというふうに感じております。

まず費用につきましては、4月招集議会で議決されました設計業務委託料1,100万円に、旧松山中学校体育館の整備費用等を加えて、概算ではありますけれどもこれも議会でお答えした通り、およそ3億円を予定しております。

なぜそんなにお金をかけてまで決断したのかというふうに問われれば、酒田にしかない山形県内唯一の屋内リンクを何とかして残したい。そして、今山形県の方で屋内スケートリンクをどこかに造りたいという検討を進めているとお聞きをしておりますので、何とか酒田にそれを誘致したいと思いがあまして、そのように決断をいたします。

そしてなぜ松山なのかということにつきましては幾つかの理由があります。

酒田市では公共施設の適正化を進めるにあたって、既存施設の集約化、或いは多機能化に取り組んでおります。松山地域の体育館の配置につきましては、現在使用されている松山体育館が老朽化している一方で、旧松山中学校体育館、こちらは現在利用されていないが耐震性があるということから、将来的には、今回整備いたします旧松山中学校の体育館を松山体育館として利活用できるように整備を進めたいということが理由の1つになります。

その上で、屋内スケートリンクの設置場所については、実は令和4年度末から1年ほどかけて検討して参りました。検討にあたっては、民間の施設、それから酒田市が保有している施設、複数の施設につきまして、スケートリンクとして活用できる面積ですとか、或いは整備の費用、それから開設できる時期ですね。ワンシーズンは仕方ないとしてもツーシーズン空いてしまうと、なかなか利用者が離れてしまうのではないかとということありましたのでなるべく早く、整備したいということなど、様々検討した結果、屋内スケートリンクの整備場所としては旧松山中学校体育館がふさわしいという判断になる。

改めて、その屋内スケートリンクの目的ですけれども、1つは子供たちの冬季間の屋内の遊び場を確保したいということ。それから2つは、スケート選手愛好者の方々の練習する場所を確保したいということ。両方とも市民の皆さんから要望がこれまでありましたので、判断させていただいたということになります。

繰り返しですが現在山形県において屋内スケートリンクの整備について検討しているということですので、酒田市、或いは庄内地方に、是非とも屋内スケートリンクを整備していただけるように、引き続き要望活動を続けて参ります。以上です。

## **2 土門拳記念館の名称変更の狙いとその後の事業展開について**

**記者**／土門拳記念館が写真美術館に名称変更するとのことですが、そのねらいと今後の事業展開についてお聞かせください。

**市長**／このたびの土門拳記念館の名称変更については、令和5年6月に、土門拳記念館の館長に就任された佐藤館長の発案を受け、公益財団法人酒田文化財団からの申し出があっ

たものでございます。その申し出の趣旨としては2つの理由があります。

1つ目は、日本初の写真美術館として開館した土門拳記念館は、昨年10月1日に40周年を迎えましたが、時間の経過とともに、土門拳が写真家であることを知らない世代も増えてきております。土門拳写真美術館に名称を変更することで、土門拳を知らない世代の方にも、日本を代表する写真家であるということを分かり易く伝えるということでございます。

もう1つの理由は、これまでの土門拳や関連作品を中心とした展示だけでなく、土門拳のリアリズムとは異なった価値感の作品についても、積極的に展示をし、土門拳の作品を相対化することによって、より土門拳の作品に焦点を当て、新たな価値を創造していきたいという考えがありまして、今後は、他の写真家の作品も展示していきたいという考えがあることから、土門拳記念館よりも土門拳写真美術館とすることが望ましいと考えたということでございます。

これらの2つの理由から、名称を土門拳写真美術館に変更いたしますけれども、これにより、英語表記である「Ken Domon Museum of Photography」と一致いたします。

なお、本市としては、申し出の趣旨を受けとめながらも、40年前の土門拳記念館の建設当時に、土門の人格や生き方を建物に反映させるという思想に基づき設計された建築家の谷口吉生氏や、建設に携わられた土門の盟友であるイサム・ノグチ氏、亀倉雄策氏、勅使河原宏氏の意味を尊重し、条例上の正式名称は、現在の土門拳記念館のままとし、あくまで対外的名称のみを土門拳写真美術館とするものであります。

今後の事業展開としては先ほども述べました通り、土門やその関連作品を中心とした展示から、土門が提唱したリアリズムや異なる価値観の作品についても展示をしていくことで、写真愛好家だけでなく、市民や観光客と、多くの方が訪れる場所にしていきたいというふうに財団では考えていると伺っております。以上です。

### **3 アランマーレのホームタウン移転後の支援について**

**記者**／今年10周年となるアランマーレ山形のSVリーグ参戦が決まりました。

ホームタウンが天童市となった後も、酒田市はマザータウンや活動拠点として引き続き支援していくということですが、具体策があれば教えていただきたいです。

**市長**／本市では平成29年度から公益財団法人酒田市スポーツ協会と、株式会社プレステージ・インターナショナル、そして酒田市の3者で、本市に活動拠点をおく女子バレーボールチーム「アランマーレ」に、対する相互の支援・協力に関する協定を締結しております。

酒田市での活動拠点である国体記念体育館は、令和5年度改修のため、1年間使用できませんでしたが、本年4月1日には、ネーミングライツにより新たに、「INPEX 酒田アリーナ」としてリニューアルオープンしたところであります。

「アランマーレ山形」にはこれまで通り、INPEX 酒田アリーナを活動の拠点として使用していただきまして、ホームゲームの開催や、通常の練習などにおける、体育館の使用料、

冷暖房料金すべて免除して利用していただきたいと思いますと考えております。

#### 4 女子中学生自殺問題で第三者委員会の報告書まとめの進捗状況について

記者／女子中学生自殺問題で、第三者委員会の報告書まとめに向けた進捗状況がわかれば教えていただきたい。

市長／再調査委員会は、一昨年令和4年10月4日に設置され、第1回目の委員会会議を、同年10月14日に開催。関係者への聞き取り調査を含めてこれまで31回にわたり委員会会議を行っていると同っております。今年3月29日に開催された第31回委員会会議では、各事案の事実関係の評価に加え、調査報告書の全体構成に関する検討も行われている状況とのことであり、報告書の提出という最終段階に近づいているものと考えております。

いずれにしても、調査に関しては一切を再調査委員会にゆだねておりますので、議論の詳細調査報告書の完成時期について、私としても承知し得ないことをご理解いただきたいと思います。

調査報告書につきましては、報告書が提出された段階で、再調査委員会からその内容について報道機関の皆様にご説明することになると考えておまして、その日程については、事前にお知らせすることになると考えております。以上です。